

## 関連研究や手引きも踏襲！！ 『食物アレルギー診療ガイドライン 2016』一般販売開始

株式会社協和企画（代表取締役社長：山田淳史、本社：東京都港区）は、10月17日より、『食物アレルギー診療ガイドライン 2016』の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

### 【概要】

- ◎ **監修**：海老澤元宏、伊藤浩明、藤澤隆夫
- ◎ **作成**：日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会
- ◎ **発行**：株式会社協和企画
- ◎ **定価**：本体 3,500 円＋税
- ◎ **体裁**：B5 判、本文 186 ページ、アジロ無線綴じ
- ◎ **改訂・変更のポイント**：

『食物アレルギー診療ガイドライン 2016』（以下、2016 年版）が 5 年ぶりに改訂し、発売されました。前版、『食物アレルギー診療ガイドライン 2012』の発刊から丸 5 年が経過し、食物のアレルギーの領域では日々国内外から治療の研究成果が発表されていることを受けたものです。

食物アレルギーの診療は、子どもの成長・発達のために「原因食品を可能な限り摂取させるにはどうすればよいか」という方向を目指しています。2016 年版では臨床現場で役立つよう掲載内容を充実させるとともに、『食物アレルギーの診療の手引き 2014』や『アナフィラキシーガイドライン』などから図表を引用して融合を図っています。

### ◎ 特長

- ・食物経口負荷試験で摂取させることを目指した少量総負荷量の設定、単回摂取の方法が詳述されています。
- ・段階的に摂取を進めていく食物経口負荷試験目標量の設定が例示されています。
- ・**「栄養食事指導」、「症状の重症度判定と対症療法」を独立させ、「経口免疫療法」が新規に章立て**されました。
- ・「予知・予防」においても最新情報を取り込んで刷新しました。
- ・前版に比べて**「食物アレルギーの知識」、「診断と検査（食物経口負荷試験を除く）」の充実**が図られました。
- ・アナフィラキシーへの対応法が詳述されています。
- ・「消化管アレルギーと関連疾患」を独立させて、厚生労働省研究班報告書と調和が図られています。
- ・学校や幼稚園・保育所などにおける患者さんの社会生活について、より具体的に解説されています。
- ・最新の知見・文献と諸外国の診療ガイドラインを参照し、**文献リストを刷新**しました。

※注文は全国の医書取扱書店、また弊社ホームページにて受け付けております。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
株式会社協和企画 〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5  
担当：提箸（さげはし） TEL:03-6838-9221 e-mail:sage@kk-kyowa.co.jp